

いんにちは

## 「漆アート花筏」へようこそ

山野草である「花筏」は葉の上に乗った実の様子が、まるで船頭さんに見えることから「ハナイカダ」と呼ばれています。別名「ままつこ」、「嫁の涙」とも言われ、お茶花としても愛されています。

その愛くるしい姿に心引かれ、日本の伝統文化にある「心の豊かさ」をテーマに、平成八年七月「漆アート花筏」と命名して、お店を始めました。円卓ひとつで始めた店ではありますが、地元の作家さんの御協力により、店を通して数多くの出会いと触れ合いの中で育てて頂いております。

人に優しく自然に優しい木の温もりに注目しながら、自分を優しくしてくれる、ちよつとオシヤレな気分も楽しめる物を「花筏」オリジナル作品として提案して行きたいと考えております。また店内が、お客さまのひとときの安らぎと出会いの場になればと夢描いております。

山野草「花筏」は春五月には葉の上に花を咲かせ、夏にはその実も黒く色付きます。四季それぞれの顔を見せ店の入り口でお待ちしております。

奈良井宿の四季と共に楽しみただければ幸いに存じます。

木曾路 奈良井宿

## 漆アート花筏

